

はじめに

平成18年度筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻博士前期課程修了者の修士学位論文梗概集を刊行いたします。本年度の修士論文提出者は36名でした。ここに皆様の修士論文作成までの努力を讃えるとともに、指導教員、副指導教員や査読者を始めとする論文作成に関わられた教員各位に感謝申し上げます。

図書館情報メディア研究科は、「情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を進展させ、新しい時代に向かって社会をリードする人材を養成すること」を使命としてかかげており、その達成のために「社会における知識・情報の共有や、その仕組みとしての図書館や情報ネットワーク」を対象にした、人文学、社会科学、理工学等の多様なアプローチからの総合的・複合的な教育・研究を行っております。そのような多面性を実現するために、情報メディアマネジメント分野、情報メディア社会分野、情報メディアシステム分野、情報メディア開発分野の四つの教育研究領域を設置し、また修士の学位も図書館情報学、情報学、学術をそろえております。ちなみに本年度の修士論文提出者36名の内訳は、教育研究領域別では情報メディアマネジメント分野が13名、情報メディア社会分野が11名、情報メディアシステム分野が9名、情報メディア開発分野が3名、学位の種類別では図書館情報学が20名、情報学が13名、学術が3名でした。

博士前期課程の修了者は、公的機関や企業等で図書館情報メディアに係る専門家として実務に携わるもの、将来この領域の先駆的な研究者になるべく博士後期課程に進学するものなどさまざまです。どのような職につかれようとも、修了生各位が、本研究科で学んだ事や修士論文を完成させるまでの研生活の中で得た知見を活かし、知識情報社会のフロンティアとして活躍されることを期待します。

さて本研究科ではこれまで抄録集を刊行してまいりましたが、修士論文の公開を求める声が強くなり、また折角の成果をより多くの人に知っていただく事が重要という判断から、報知的抄録より詳しく、図表までも含めた”梗概”を作成し、それを公開しようという事になりました。本梗概集はそのような形態としての最初のものであります。2ページという分量は研究領域によっては不十分ではあるかも知れませんが、学会等の講演予稿集程度の分量であり、研究内容の骨格を知るには十分と考えます。修了生や本研究科の教員・学生はもとより、多方面の方々に参照していただければ幸いです。

2007年3月

図書館情報メディア研究科長 中山伸一